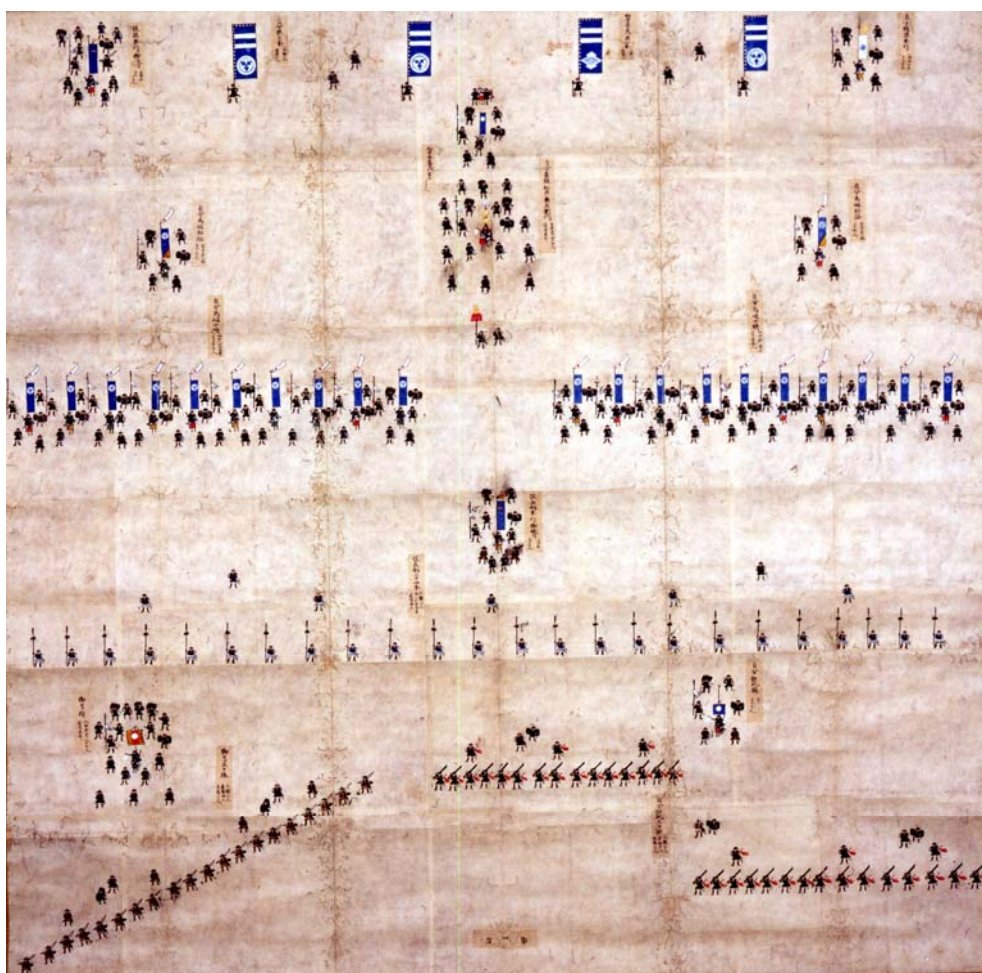


じんぞなえず
陣備図

- 江戸時代〔18世紀〕 □掛幅装〔全11幅〕 □紙本墨画淡彩
- 250.5 cm×203.7 cm〔旗本備〕、142.0×141.0〔旗本備を除く10幅〕
- 財団法人松井文庫所蔵



^{みぎわきぞなえず}
▲右脇備図〔総大将のひかえる「旗本備」の右脇に位置し、本陣の守備を務める部隊〕

松井家当主（八代城主）を総大将とする軍団の編成を描いたものです。

はたとぞなえ ひだりまえぞなえ みぎまえぞなえ ひだりうしろぞなえ みぎうしろぞなえ ひだりゆうぐん
「旗本備」・「左前備」・「右前備」・「左後備」・「右後備」・「左遊軍」
みぎゆうぐん ひだりわきぞなえ みぎわきぞなえ ひだりこにだぶぎょうぞなえ みぎこにだぶぎょうぞなえ
「右遊軍」・「左脇備」・「右脇備」・「左小荷駄奉行備」・「右小荷駄奉行備」
から成ります。それぞれの「備」には役割があつて、「前備」は攻撃の一番手、「後備」は攻撃の二番手、「遊軍」は状況に応じて出動、「脇備」は旗本備の
ぼうぎよ 防御、「小荷駄備」は兵糧を中心とする軍事物資の輸送にあたりました。

軍団を構成する人々

武士



大将〔たいしょう〕



番頭〔ばんがしら〕



鉄砲頭〔てっぽうがしら〕

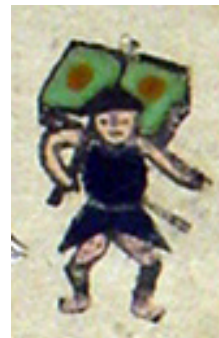
奉公人



小頭〔こがしら〕



鉄砲足軽〔てっぽうあしがる〕



挟箱持〔はさみばこもち〕

百姓



人足〔にんそく〕



黒鞆〔くろくわ〕

軍団は、武士だけで構成されていたわけではありません。有事の際は、百姓も動員され、兵糧の輸送などにあてられることになっていました。